

第391回三木市議会定例会 市長 開会あいさつ

令和8年2月20日

議会の開会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、第391回市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆さまにおかれましては、公私ご多用の中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

平素から市政の運営につきまして、格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

このたび、三木市は、国の「体力つくり優秀組織表彰」の文部科学大臣賞を受賞しました。この賞は、地域や職場における保健・栄養の改善及びスポーツ・レクリエーションの普及運動を推進し、顕著な成果を上げている組織を表彰するものです。令和7年度は、三木市を含め、全国で4組織が受賞し、2月10日に栃木県宇都宮市で開かれた「生涯スポーツ・体力つくり全国会議2026」において、河合スポーツ庁長官から表彰いただきました。

これは、介護予防の推進に向け、「みっきい☆いきいき体操」や「みっきい☆シニア健康サポート事業」など親しみやすい愛

称で、市民の自主的な運動教室の運営支援や専門職相談の充実など、体力づくりのサポート体制を整えることで、全国平均を上回る高齢化率でありながら要介護認定率が低く、介護保険料も兵庫県内で最低水準となっている点が、全国的にも先進的なモデルとして評価されたものです。

今後も住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりをめざし、引き続き市民の主体的な体力つくりの活動をサポートするなど、高齢化に対応した取組を推進してまいります。

また、市民の皆さまの健康意識の向上と、デジタル社会に慣れ親しんでいただくための取組として、「みっきい☆健康アプリ」の普及も引き続き推進しています。令和4年10月から開始し、登録者数は9,000人を超えるました。健康アプリについては、マイナンバーカード活用事例として注目され、自治体ICT専門誌「月刊J-LIS(ジェイリス)」1月号に掲載されました。市では、健康アプリをより便利に利用いただけるよう、市の電子申請、健診予約システムや三木市公式アプリと連携させることで、利便性の向上に取り組みました。今後は、蓄積された健康データを分析し、健康づくり施策に生かしながら、市民の皆さまが健康で笑顔あふれる毎日を送れるよう取り組んでまいります。

このたびの市議会定例会は、令和8年度の各会計予算をはじめとする案件についてご審議をいただく、極めて重要な議会であり、専決処分の報告1件、条例関係11件、市道路線の廃止・認定関係2件、新年度予算7件、令和7年度補正予算6件の、併せて27件の提案を予定いたしております。

また、今後、国会で審議予定の法令改正の成立により、条例関係3件を追加提案する予定といたしております。

新年度予算をはじめ、私の市政に対する思いは、後の施政方針で述べさせていただきます。

議員の皆さまにおかれましては、どうか慎重なるご審議をいただき、適切なるご決定を賜りますようお願いを申し上げ、開会のあいさつといたします。